



# KYOTO SCOPE

---

医療と社会的困難女性と  
支援をつなぐ  
ソーシャルワーク・プラットフォーム

[kyoto-scope.com](http://kyoto-scope.com)

KYOTO  
SCOPE

# KYOTO SCOPE は 医療現場でのソーシャルワークを支援する ウェブサイトです。

## 困難な状況にいる女性は あなたの目の前に

経済的困窮やDVなど、社会的に困難な状況にいる女性は、ときに支援の手が届かず孤立していることがあります。医療現場においても、その状況に気づきづらいことがあり、疾病、出産、中絶など来院の直接的な理由からは、他の多くの患者と同じように見えるかもしれません。

## 助けての声に耳を澄ませて

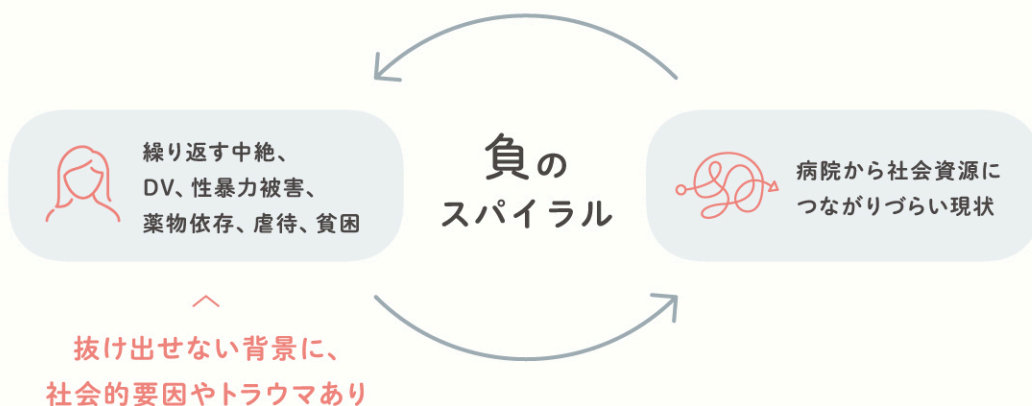
あるいは、多くの患者と同じように見えるのではなく、むしろ少しくれームが多かったり、治療に協力的でなかったり、「助けて」の声は聞こえづらいことが多いかもしれません。

しかし、来院の理由やそういった態度の背景には、社会的要因やトラウマがある可能性があります。治療や処方でも根治しない患者の背景に、医療者が目を向けることができれば、当事者の負のスパイラルを止めるきっかけをつくることができます。

## 医療者、支援者のストレス軽減にも

治療に協力的でない患者に対する視点が変わると、ほかでもない支援者自身のストレスも減ります。

KYOTO SCOPEは、社会的に困難な状況でハイリスクを抱える女性を「支援する人を支援する」ソリューションです。



※1 厚生労働省による平成30年度各統計より算出

※2 平成29年度内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」報告書より

すべての医療者へ

すべてのソーシャルワーカーへ

すべての支援機関へ

## .. 仮想症例から学べる

対応時に医療者やケースワーカー側が身につけておきたい「トラウマへの気づきを高めるあり方」を、さまざまな仮想症例から学ぶことができます。

中絶不可遇数を迎えた  
16歳にどう対応する？

離婚のためにビザを失った  
外国人妊婦が来院したら？

## .. 地域の支援機関が見つかる

医療だけでは解決できない、さまざまな困りごとを継続支援してくれる支援機関がテーマや相談対応の内容などで整理され、検索できます。

患者が性暴力被害者かもし  
れないと察したら？

薬物依存症の  
疑いがあるときは？

私たちが大切にしている

TIC (トラウマ・インフォームド・ケア) とは

「困った人」への対応は、「どうして、そんな状況になっているんだろう？」という視点が大切です。ひよっとすると今まで生きてきた中で、様々なトラウマとなる体験をしたため、そのような方法でしか表現できなかったのかもしれませんが。今起こっている問題や振る舞いが、症状ではなく、「その人にとっての最善の方法=適応」ではないかと考えてみてください。トラウマを抱えている（もしくは抱えていると思われる）人に対しては、トラウマの影響を十分理解して、配慮ある関わりをすることが望まれます。このような対応を、トラウマ・インフォームド・ケア (Trauma Informed Care) といいます。

## 医療者が

患者のさまざまな背景を理解し、  
支援と連携する仕組み



### 社会的困難女性

社会的に困難な状況でありながら、  
十分な支援の手が届いていない女性。  
健康面でハイリスクな状況であること  
が少なくないため、来院機会がある。

## 医療者

患者の言動や態度の背景を理解して対応できることで、対応ストレスが軽減する。また、患者にとって適切なタイミングで地域資源に紹介できるようになる。他職種の視点をもって、患者の抱える問題の根本的な解決につなげられる。

医療者

KYOTO

SCOPE

社会的困難女性が抱える背景を  
さまざまな角度から理解し、  
有効な支援につなげる

行政

地域  
資源

## 行政

行政からの支援の手が届きづらかった社会的孤立女性へ、医療現場から支援の導線が生まれる。虐待やDVといった問題に対して、行政の強みを生かした多職種連携や適切な民間サービスへの紹介機会が生まれる。

## 地域資源

医療者から患者を紹介された場合のミスマッチや受け入れ負担が軽減する。病院との地域連携が強化され、医療者とのコミュニケーションが円滑になる。広くは、多職種による連携や地域の他資源との支援連携も視野に入る。



## モデルケースと対応



### 読んで学ぶ

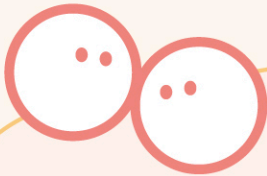
適切な支援には、医療以外の知識も必要です。モデルケースを読んで、対応を学べます。モデルケースは実際のケースを参考にして、多職種の視点でつくられています。

個人学習のほか、院内での研修教材にも使うことができます。院内の多職種で話し合うのもよいでしょう。

### 悩んで知る

現場で対応に迫られたとき、どこに頼ればいいのか分からないとき、あるいはどう対応すべきか分からないとき、類似ケースを調べることで適切な対応のヒントが得られます。

必要なケースに素早くアクセスできるよう、モデルケースは 이슈ごとにカテゴリ化されています。



## ケース勉強会

### つながり 考える

モデルケースを題材として、不定期でオンラインケース勉強会を開催しています。支援団体や行政職員、専門家が集い、多様な視点で顔をあわせて語り合います。広く参加をのびっており、京都以外の地域からもご参加いただいています。参加者同士につながりが生まれることも期待しています。

また、勉強会の内容を踏まえて、掲載モデルケースは改良され、アップデートされていきます。

## 地域資源

### 探して 見つける



ソーシャルワークにおいて重要な地域資源の情報がリスト化されており、検索やカテゴリで連絡先や情報にアクセスできます。いざというときに、地域にある支援機関を探すことができます。

支援の流れやときに複雑な連絡方法など、支援機関に連絡するときに役立つ情報を掲載しています。





KYOTO SCOPE は  
他地域での展開を想定しています。

KYOTO SCOPEは、京都以外での他地域でも同じ構成のウェブサイト  
を横展開できるように設計されています。

主に「地域資源」を変更しローカライズすることで、地域向けの  
プラットフォームを提供できます。自地域での展開をご検討の  
方は事務局までお問い合わせください。

このプロジェクトは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の一組織である社会技術研究開発センター（RISTEX）より資金を得て、病院の産婦人科などを訪れる特定妊婦やその予備軍に対する、病院でのソーシャルワークを活性化させるための研究開発事業の一貫として、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系健康情報学教室 KYOTO SCOPE事務局により実施および運営しています。

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系健康情報学教室  
KYOTO SCOPE 事務局

[info@kyoto-scope.com](mailto:info@kyoto-scope.com)

